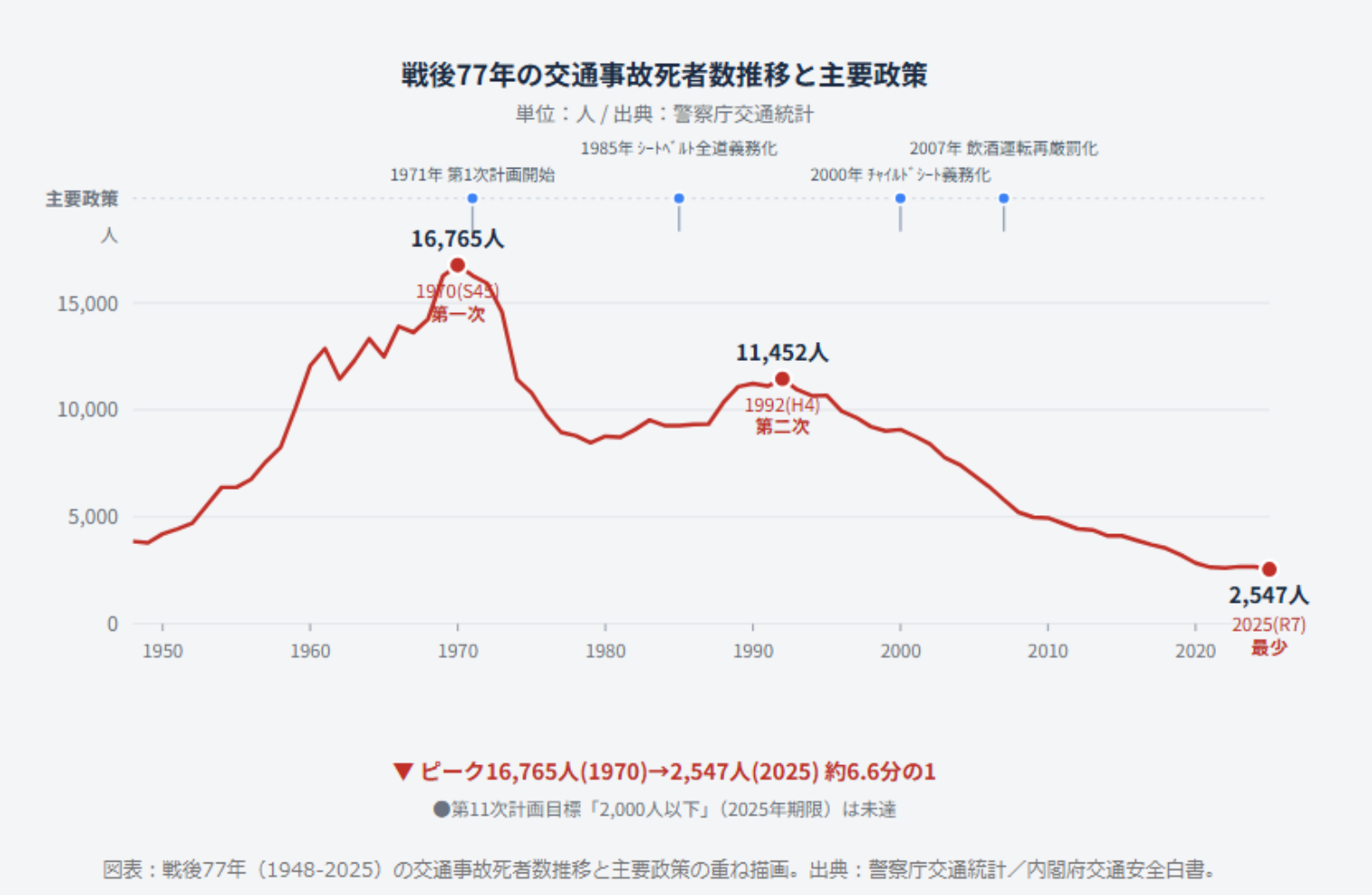


地域の安心安全な交通社会の
実現を目指す

角田自動車学校
企業安全運転講習

株式会社角田自動車学校

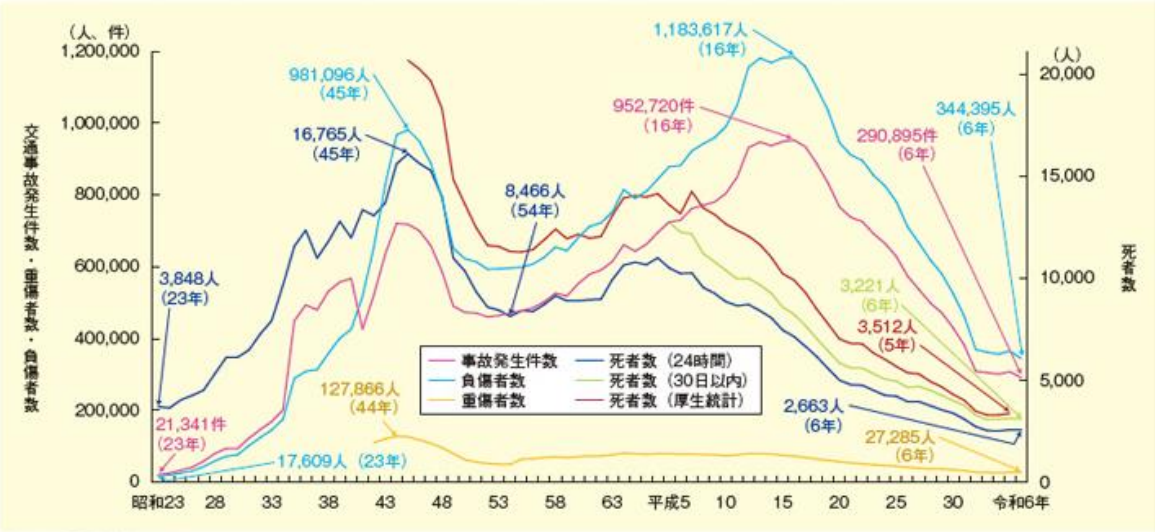
交通事故死者数



日本の経済状況に影響されていましたが、近年は減少が続いています。2025年は統計を取り始めて以来最少となりました。

交通事故状況

▶第1-1図　道路交通事故による交通事故発生件数、死者数、重傷者数及び負傷者数の推移



注　1　警察庁資料による。
2　「死者数（24時間）」とは、交通事故によって、発生から24時間以内に死亡した人数をいう。
3　「死者数（30日以内）」とは、交通事故によって、発生から30日以内（交通事故発生日を初日とする。）に死亡した人数をいう。
4　「死者数（厚生統計）」は、警察庁が厚生労働省統計資料「人口動態統計」に基づき作成したものであり、当該年に死亡した者のうち原死因が交通事故によるもの（事故発生後１年を超えて死亡した者及び後遺症により死亡した者を除く。）をいう。
なお、平成６年以前は、自動車事故とされた者を、平成７年以降は、陸上の交通事故とされた者から道路上の交通事故ではないと判断される者を除いた数を計上している。
5　「重傷者数」とは、交通事故によって負傷し、１箇月（30日）以上の治療を要する者の人数をいう。
6　昭和41年以降の交通事故発生件数は、物損事故を含まない。
7　死者数（24時間）、負傷者数及び交通事故発生件数は、昭和46年以前は、沖縄県を含まない。

交通事故死者数は過去最少でしたが、事故件数、負傷者数に関しては膨大な数に変わりはないです。

<2025年>
発生件数　２８７，２３６件
負傷者数　３３８，５０８件
↓
「**重度後遺障害**」年間２千数百人

交通事故による損失

交通事故の高額判決例（人身事故）

認定総損害額	裁判所	判決日	事故日	被害者	被害状態
５億２，８５３万円	横浜地裁	2011.11.1	2009.12.27	男41歳　眼科開業医	死亡
４億５，３８１万円	札幌地裁	2016.3.30	2009.1.7	男30歳　公務員	**後遺障害**
４億５，２５１万円	横浜地裁	2017.7.18	2012.11.1	男50歳　コンサルタント	〃
４億３，９６１万円	鹿児島地裁	2016.12.6	2010.11.9	女58歳　専門学校教諭	〃
３億９，７２５万円	横浜地裁	2011.12.27	2003.9.14	男21歳　大学生	〃
3億９，５１０万円	名古屋地裁	2011.2.18	2007.4.13	男20歳　大学生	〃

交通事故による損失

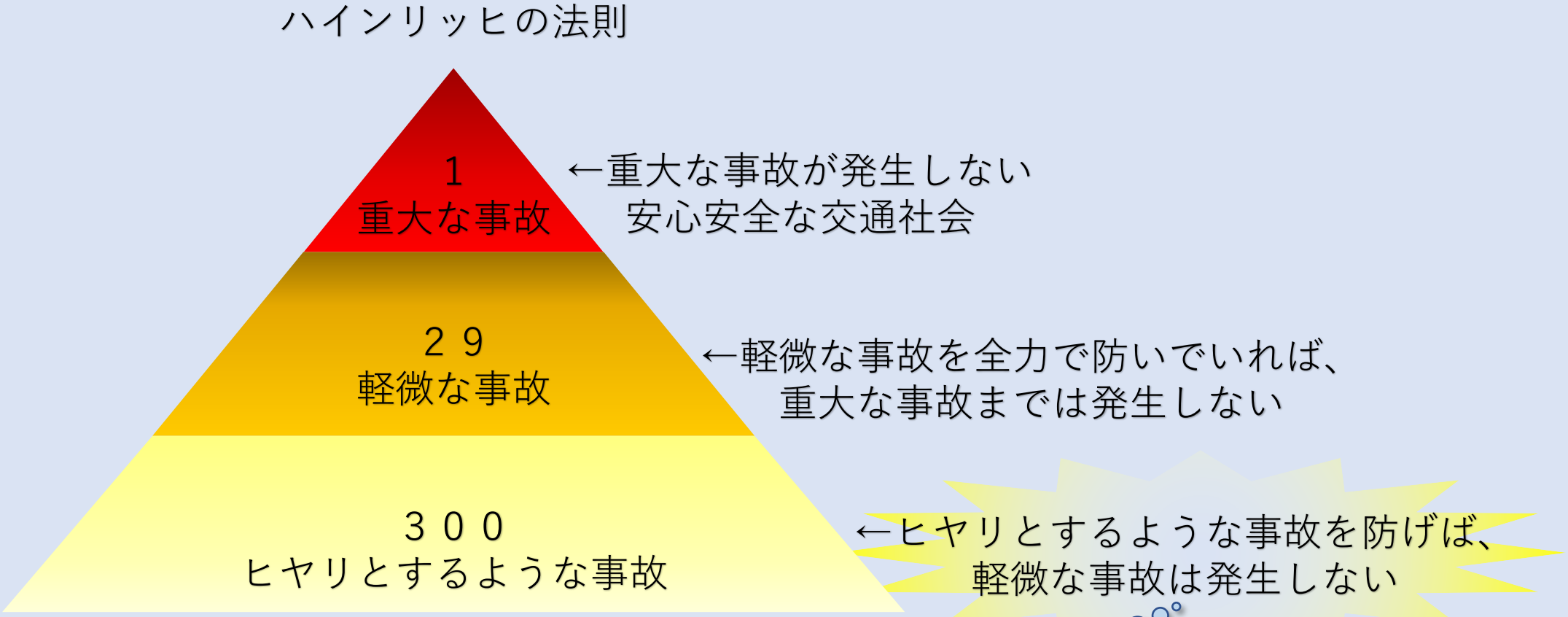
交通事故の高額判決例（物損事故）

認定総損害額	裁判所	判決日	事故日	被害物件
２億６，１３５万円	神戸地裁	1994.7.19	1985.5.29	積荷（呉服・洋服・毛皮）
１億３，４５０万円	東京地裁	1996.7.17	1991.2.23	店舗（パチンコ店）
１億２，０３６万円	福岡地裁	1980.7.18	1975.3.1	電車・線路・家屋
１億１，７９８万円	大阪地裁	2011.12.7	2007.4.19	トレーラー
１億１，３４７万円	千葉地裁	1998.10.26	1992.9.14	電車

交通事故死傷者などに対する損害賠償額が高額化している今、社員ドライバーが交通事故を起こした場合、企業の社会的信用の失墜、車両修理費の増加、社有車自動車保険料のアップや医療関係費の増加など大きな負担となり、企業として大きなイメージダウンとなります。

社員の継続的な運転チェックは企業のリスクマネジメントに欠かせません。

ハインリッヒの法則


ハインリッヒの法則
1
重大な事故
←重大な事故が発生しない
安心安全な交通社会
２９
軽微な事故
←軽微な事故を全力で防いでいれば、
重大な事故までは発生しない
３００
ヒヤリとするような事故
←ヒヤリとするような事故を防げば、
軽微な事故は発生しない
交通事故防止対策はここにある

空白の５０年と求められるドライバー像

運転免許取得年齢・・・・・１８歳

（更新時講習はあるものの）空白の５０年

高齢者講習受講年齢・・・７０歳

普段の運転では気付かない自分

安全マインドの再確認が必要

ハンドルを握る責任感の向上

求められるドライバー像は
ここにある！

角田自動車学校の企業安全運転講習

**　角田自動車学校は、次のような趣旨のもと安全運転のノウハウを企業の皆様に広めるために講習を通してサポートさせて頂きます。**

1　「運転者自身の運転マナー度（態度）や性格を知り、自分自身を見直す」

2　「安全運転の更なる意識向上を目指す」

3　「安全運転管理者の管理のもと、企業ドライバーとしての質の向上を図る」

角田自動車学校の企業安全運転講習

３時間コース	
１時限目	◯オリエンテーション ◯ＯＤ式安全性テスト
２時限目	◯運転技能 ・教習車両による路上運転 ・路上運転チェックシートによる採点 ・ドライブレコーダーによる運転撮影
３時限目	◯座学 ・ＯＤ式安全性テスト結果に基づく自己分析とカウンセリング ・ドラレコ映像、路上運転チェックシートを基に自身の運転確認と分析 ◯まとめ ・ＯＤ式安全性テスト結果と運転の自己分析結果による今後の運転について ◯修了式

角田自動車学校の企業安全運転講習

5時間コース	
1時限目	○オリエンテーション ○ＯＤ式安全性テスト
2時限目	○運転技能 ・教習車両による場内運転（基本運転練習）　・指導員の運転を模倣し客観的自己分析 ・助言、指導がない環境で採点チェックシートによる採点と指導 ○座学 ・ＯＤ式安全性テスト結果に基づく自己分析とカウンセリング ・受講者の起こす可能性の高い事故パターンや交通場面での危険パターンを具体的に指導
3時限目	○危険予測ディスカッション ・危険予測シート（写真やイラスト）を活用した事故パターンや事故多発地点等の分析、又はシミュレーターを活用した危険予測で危険の早期発見力を高める
昼休憩	
4時限目	○運転技能 ・教習車両による路上運転　・路上運転チェックシートによる採点　・ドライブレコーダーによる運転撮影
5時限目	○座学 ・ＯＤ式安全性テスト結果に基づく自己分析とカウンセリング ・ドラレコ映像、路上運転チェックシートを基に自身の運転確認と分析 ○ＤＶＤ映像教養 ○まとめ ・ＯＤ式安全性テスト結果と運転の自己分析結果による今後の運転について ○修了式

角田自動車学校の企業安全運転講習

新入社員等若手社員や現社員を対象とした
「安全運転講習会」

安全運転管理者
○新入社員個々の性格や運転適性の把握及びアドバイス
○安管としての社会的役割

OD式安全性テスト
座学
安全意識の向上

受講者
○自分の性格や運転適性の把握
○今後の安全運転に対する意識改善と業務中や業務外、通勤等の運転に対する責任感

安全運転管理者
○意識的・能動的な学習やトレーニング等を通してテクニックを向上させたい

運転技能の向上

受講者
○安全に運転しようとする気持ちや心構えだけで安全運転は実践できないことの体験

事業所に係る交通事故防止と交通安全の実現

安全運転に関する知識や技術、場所の提供

角田自動車学校の企業安全運転講習

運転技術は同じでも、運転のしかたは人によって違います。運転者個人の性格やくせが運転に大きな影響を与えるからです。この性格やくせを知るには、他の人に運転を見てもらうのもひとつの方法ですが、運転適性検査を受ければ、運転に関係が深い動作・行動や性格について、より正確に知ることができます。

～ＯＤ式安全性テスト～

正確でスムーズな運転操作に必要な「運動機能」、交通社会の一員として必要な「健康度・成熟度」「性格特性」「運転マナー」の４つの要素が、どの程度備わっているかを１６の特性から評価するとともに、安全運転に関する適性を総合的に診断します。

検査結果は、「運転適性度」と「安全運転度」の総合評価から４つの運転タイプに分類され、受検者それぞれにあった効果的な運転方法がアドバイスされます。

また、安全運転管理者用の診断書がありますので、管理者側からのアドバイスに適しています。



角田自動車学校の企業安全運転講習

1　企業における安全運転管理
①交通事故の脅威から企業を守る　②社員の能力、気質を知る　③マイカー事故の防止を図る

2　交通事故に対する意識
①交通事故発生のリスク認識を変える　②交通事故原因に対する認識を変える

3　安全運転教育
①基礎技能の確認　②科学的知識の習得

4　企業における安全運転管理
①車両等の使用者の義務　②安全運転管理者の責務

角田自動車学校の
企業安全運転講習

社員の
事故防止

企業の
交通事故防止

地域の
安心安全な
交通社会の実現